

令和6年度第3回（通算第5回） リハビリテーション委員会 議事録

*日時：令和6年8月21日（水）19：00

場所：オンライン開催

*参加者（敬称略、順不同）

医師：鈴木郁子、栗原まな、木下俊裕

PT：高塩純一、榎勢道彦、金子断行、黒川洋明、松山英知、大嶋志穂、岩島千鶴子（書記）

OT：岸本光夫、谷口敬道、西島和秀、佐藤匠、小林健哉

ST：虫明千恵子、濱田恵理子、池上陽子、豊田隆茂、中村達也、武藤茜

心理：宮地知美、長谷川雄大

*内容

- ・長谷川：新しく参加。自己紹介
- ・鈴木：学会、理事会報告。今年度の重症心身障害学会学術集会でリハビリテーション委員会発足記念シンポジウムがあり、その内容もつめながら報告してほしい。

ST 部門、自己紹介を兼ねたプレゼンテーション

<濱田> 西宮市立こども未来センター

- ・2015年9月、西宮市立こども未来センター開設。
ここにこハウス医療福祉センター入職を経て、現在の職場に。
- ・口腔ケアやマッサージの大切さ：清潔、唾液分泌、呼吸など
- ・「食べること」の困難さと重み：ご本人、家族の思い、ライフステージに合わせて寄り添い支援
- ・山川真千子先生との出会い
- ・書道活動：PT・OTと連携し、継続した活動に。
- ・ライフステージの視点で考える支援が大切

<虫明> 東京都立北療育医療センター

- ・国立身体障害者リハビリテーションセンター学院卒業
- ・1962年に北療育園が開園後に、城南分園や城北分園が開園し、1975年に東京都立北療育医療センターが移転、開園。
- ・ライフステージと生活フィールド：外来、保育所等訪問支援など
- ・言語、コミュニケーション、摂食嚥下に対応
- ・対象：脳性麻痺、染色体異常、神経筋疾患、自閉症スペクトラム、器質性障害など
- ・言語発達障害、構音障害、吃音
- ・重症身心障害児者の関わりで大切にしていること：
ライフステージに沿った支援、アクティブに外界に関わることができる、自己表現ができる
- ・重症身心障害児者のライフステージと摂食嚥下機能
- ・青年期後期の摂食嚥下機能低下の対応

家族が切望、本人はどう思っているのか

- ・ 幼児期-学齢期

食べたい欲求：何を食べるか、誰と食べるか、どうやって食べるか

プレスピーチへのアプローチを食べることから

- ・ 重症身心障害児者のコミュニケーション

気持ちの通じ合い-わかり合い、非認知的な心の発達、不確かな表出を手がかりに気持ちや思いを受け止める

ST 部門発表ごとに、感想を含めた意見あり。

その後、医師部門、PT 部門、OT 部門、ST 部門、心理部門にわかれ、学術集会でリハビリテーション部門シンポジウムの打ち合わせを実施。

次回のリハビリテーション委員会までに、学術集会の各部門の抄録をながした上で、話し合いを行うことになった。

次回は、2024 年 10 月 2 日（水）19：00～

自己紹介およびプレゼンテーション担当は心理部門。